

一般撮影検査

◆一般撮影検査とは

放射線（X線）を用いて胸部・腹部・骨部など全身を撮影する検査で、古くから行われている画像診断の基本となる大切な検査です。レントゲンや単純撮影とも呼ばれています。他にも一般撮影検査室では、骨密度検査、断層撮影、歯科用CT検査などを行っています。

◆装置の紹介

- ・ 一般撮影 X 線発生装置 RAD Speed Pro（島津製作所）
- ・ デジタル画像処理装置 CS-7（コニカミノルタ）
CALNEO（富士フイルム）
Side StationRAD（島津製作所）
- ・ 骨密度検査装置 Explorer C 型（東洋メディック）
- ・ 歯科用 CT、パントモ撮影装置 X-ERA MFC 型（ヨシダ）

当院では全室に検出能力の高いフラットパネルディテクタ（FPD）検出器を導入しています。従来よりも少ないX線量で高画質な撮影が可能であり、被ばくの低減に努めています。

◆検査の種類

一般撮影（単純撮影）

胸部や腹部、骨部の状態や病気を知ることができます。

その他、脊椎（頸椎から腰椎）や下肢（股関節から足関節）のように長さのある部位の全体像の撮影が可能で、側弯症の診断や下肢全体の撮影が短時間で撮影できます



特殊検査

●歯科撮影

パントモ撮影は、装置が顔の周りを回りながら 12 秒程度で顎全体を撮影します。主に歯全体の様子や上下の歯及び歯周組織、上顎骨や下顎骨の状態を観る目的で行います。他にも頭部 X 線規格撮影（セファロ）や歯科領域専用の CT 撮影があります。



●骨密度測定

骨に含まれるカルシウムやミネラル成分の測定を行います。当院ではエネルギーの異なる 2 種類の X 線を用いて骨と他の組織とを区別し、骨密度を測定する方法を用いた DEXA 法にて骨密度測定を行っています。被ばく量は極めて少なく、迅速かつ精度の高い測定ができ、骨密度測定の標準とされています。



◆検査について

一般撮影室で行われる検査時間は撮影部位や撮影枚数によって異なりますが、およそ5分から15分程度です。撮影する部位によってメガネ、ピアス、ネックレスなどの金属類や、プラスチック、金具の付いた下着などを外していただきます。

なお、妊娠の可能性のある方や、妊娠中の方は事前にお申し出下さい。